

平成 27 年度島根大学入学式 学長式辞

春たけなわのこの良き日に、多くの来賓の皆さま、そして、ご家族や関係者の皆さまの御臨席をいただきまして平成 27 年度の入学式を執り行い、学部生 1, 254 名、大学院生 287 名の新入学生を迎えることができました。入学された皆さま、そして、ご家族の皆さま、島根大学への御入学おめでとうございます。本学教職員ならびに在學生とともに、皆さまのご入学を心からお祝いいたします。

島根大学は松江市と出雲市に 5 学部 6 研究科を置き、学生総数 6, 000 名を超える総合大学です。島根大学の歴史をたどりますと、その母体として最も古くは 1876 年に設置された現在の教育学部の母体である松江師範学校まで溯ります。また、現在の法文学部、総合理工学部の母体である旧制松江高等学校が 1920 年に設置され、生物資源科学部の母体である島根県立農林専門学校が 1947 年に設置されました。そして、これら 3 校が統合する形で 1949 年に教育学部、文理学部、農学部の 3 学部からなる新制国立大学として旧島根大学が設置されました。その後、学部の再編や 1975 年に設置された医学部の母体である旧島根医科大学との 2003 年における統合、2004 年の国立大学の法人化を経まして現在の島根大学となっています。このように、私たちは百数十年に渡り多くの先輩たちが築き上げてきました伝統の上に立っています。島根大学のよき伝統を皆さんが力強く未来に引き継いでいただくことを願っています。

私たちは過去から未来に続く長い道における現在を生きています。私たちは、必然的にそれぞれの、そして、社会全体の未来に責任を負っています。いかに良い未来を築いていくかを真剣に考え、より良い未来のために不断に努力することが必要であることを忘れないでください。皆さんには、自らの意思で志した専門的学問領域での研鑽に励むとともに、幅広い教養を身に着け、皆さん自身の将来の基盤をしっかりと築かれ、広く社会でご活躍されることを願っています。そのために、今日から始まる学生生活においては、積極的に、そして、主体的に様々のことにチャレンジし、大いに学び、友人と語らい、多くの書物に触れ、青春を謳歌してください。島根大学は、皆さん一人ひとりの学びを教職員一丸となって応援していきます。

現代の社会はダイナミックに変化しています。急速な国際化、グローバル化もその変化の一つです。今後社会で活躍が期待されている皆さんにはグローバルな感性が強く求められています。グローバルな感性の涵養にはコミュニケーション力が不可欠です。島根大学では、コミュニケーション能力を主眼に置いた外国語教育を強化しており、外国語によるコミュニケーション力の向上に努めています。その成果として、多くの学生が海外の大学等に留学や研修に出かけています。海外においてのみでなく、コミュニケーション能力は

国内においても大変重要です。企業へのアンケート調査においてもコミュニケーション能力は求人の際の最重要項目として挙げられています。国の内外を問わず他者とのコミュニケーションで大切なことは、まず、自らの意見をしっかりと持ち、異なる意見を持つ人とも互いに尊重し、異なる意見を理解し合うことだと思います。グローバルが進む現代社会においては、多様な意見や価値観があることを理解し、それを共有することが重要です。島根大学は文系、理系学部がそろった総合大学であり、また、多くの海外からの留学生もいます。様々な文化的背景を持つ友人や先生方と多くを語り合い、多様な考えがあることを知り、柔軟な思考力と他者を尊重し、互いを許しあう寛容な精神を養ってください。皆さんには、確かで高度な専門知識、技能を修得した上で、グローバルな感性と柔軟な発想力をもって、地域、国内、世界各地で活躍されることを期待しています。

さて、ご存じのように来年夏の参議院選挙から18歳以上の方が投票できるようになりそうです。本日よりご入学された皆さん全員が投票できるようになります。投票を行うことは大きな権利の行使であるとともに、権利の獲得、行使には必ず責任が伴うことを自覚してください。また、投票年齢の引き下げに合わせて、成人とみなす年齢の引き下げも検討されています。周囲の方々は皆さんを成人とみなして接してくるようになります。これからは、大学に入学した時点で成人としての責任ある行動が強く求められるようになります。昨年、たいへん残念なことでありますが研究者の倫理に対する問題が起きました。皆さんはこれから自ら求めた学問の世界に入っていきます。研究者である本学教員はもちろんですが、皆さんも、学問研究に携わる者として、勉学には真摯にそして正直に取り組まなければなりません。そして、自分の行動には常に重い責任があることを自覚してください。多くの情報を容易に得ることができる今の時代にあって、安易な方法に逃げることなく、愚直なまでの謙虚な態度で学問に向き合うことが大切です。そして、自らを律する強い精神力を養い、これからの人生において、常に自らを律し、自らが信ずる正しい道を歩んでください。

大学の使命として、これまでに培われた文化、技術など普遍的な学問の継承とともに、未知なる対象の解明と新しい知見、技術の創造があります。それとともに、島根大学は島根の地域における文化、知と医療の拠点としての貢献が期待されています。島根大学は文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（課題解決型教育（PBL）による地域協創型人材育成）」に平成25年に採択され、島根県や県内自治体および、県内産業界のご協力のもと、地域活性化の拠点となるべく努力を続けています。島根大学では、広く世界に通用する人材のみならず地域活性化のリーダーとして活躍できる人材を育てていきたいと考えています。皆さんの中には、初めて島根を訪れた方もおられるかと思います。島根大学に入学されたことを良き機会として、積極的に地域社会に飛び出し、島根の良さを十分理解していただきたく願っています。

島根県は、宍道湖、中海、山陰海岸、隠岐諸島や三瓶山など豊かな自然とともに、石見銀山、出雲大社、松江城など歴史的文化遺産も多数あり、自然や歴史・文化を身近に感じることができる地域です。皆さんには島根大学における整備された教育・研究環境と、豊かな自然に囲まれ落ち着いた雰囲気の中で、勉学や正課外活動等充実した学生生活が送れるものと確信しています。豊かな自然と歴史、文化の薫るこの島根の地に学びの場を求めた皆さんの前途洋洋たる未来を祈念しまして、入学に際しての式辞とします。

平成 27 年 4 月 6 日

島根大学長 服部泰直